

食に関する指導 特別活動学習指導案

日時：令和2年12月18日(金)

5・6限目(13:15~15:00)

場所：作業室・各教室

授業者：栄養教諭・高等部教員

1 題材 「ごちそうさま～いのちにありがとうを伝えよう～」

2 本時の学習

1) 目標(ねらい)

- ・自分たちの生を支える食べ物に対して想いを深める
- ・自分の心の中にある食べ物への想いを生産者に伝える

2) 本時の流れ (100分)

時間	学習内容	○教師の指導 ☆支援 △質問等
導入 5分	○5・6時間目の予定を確認する	○5・6時間目の予定を伝える ①紙芝居を見る(5時間目) ②12/16の岡田精肉店さんの話を振り返る(5時間目) ③手紙を書く(6時間目)
展開 45分	○紙芝居を見る	○紙芝居をする前に、栄養教諭自身の話をする。 ・紙芝居に出会ったきっかけ 20歳のときに何気なくテレビを見ていたら、食肉加工についての番組をやっていた。 その際、自分が当たり前で食している牛肉や豚肉、鶏肉を育てている人の存在が気になり調べたところ、物語に出会った。 高等部の生徒の年齢にふれ、物語の登場人物が自分だったら・・・と、想像しながら見てほしいことを伝える。  ○紙芝居「いのちをいただく」をする  紙芝居の内容  牛のみいちゃんを育てたおじいちゃんと女の子、食肉加工センターで働く坂本さんと息子のしのぶ君、それぞれがいのちに想いを馳せながら、「みいちゃんが牛肉になる日」を迎える実話。

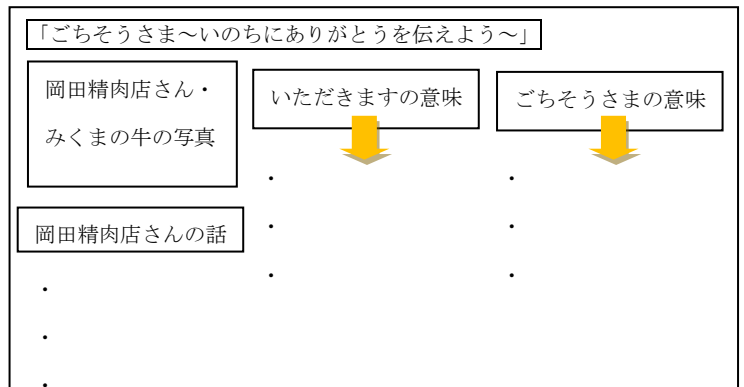
○岡田精肉店さんの話を思い出す  
○発表する

○岡田精肉店さんの話 (12/16) を思い出させる  
☆岡田さんとみくまの牛の写真を見せる

- ・ 想い
- ・ 苦勞
- ・ 喜び
- ・ いただきますの意味
- ・ ごちそうさまの意味

☆どんな話をしていたか思い出せるよう支援する  
☆でてきた意見をホワイトボードに書く(高等部教員1)

○今日の目当てを伝える  
「ごちそうさま ~いのちにありがとうを伝えよう~」



○自分たちの体を作るのは、お菓子やジュースではなく、肉や魚、野菜や植物などの生き物である。「食べる」ことを大切にして冬休みを元気に過ごしてほしいことを伝える。

○次の時間の予定を伝える  
・各教室で岡田精肉店さんに手紙を書く  
○月曜日(12/21)岡田さんに渡しに行くことを伝える。

10分休憩 移動しておく

まとめ  
50分

○岡田精肉店さんに手紙を書く

☆手紙の書き方を伝える  
1、岡田さんにメッセージを書く  
2、カードの色をぬったり、シールやテープで飾る。

△自立コースの手紙  
牛のぬりえ、自由メッセージ

△生活コースの手紙  
牛のぬりえ、文章カードを用いて手紙を書く

例) いつもありがとう  
おいしいです  
がんばってください など

文章をいくつか組み合わせてカードに貼って手紙を書く。

		☆各学年の教室の支援(手紙の書き方や内容など) ☆できた教室から終了する。 ※終了する際、食べものに対しての考えを深められるような 声かけをしていただくと助かります。 ☆手紙回収する。
--	--	--

### 3) 評価

- 食べものに対して考えを深めることができた。(手紙の内容)
- 生産者や食べものに対して感謝の念を抱くことができた。(手紙の内容)

### 4) 準備物・使用するもの

岡田さんとみくまの牛の写真、紙芝居「いのちをいただく」、カード、色鉛筆、マーカー、クレヨン、シール、おりがみ、のり、マスキングテープ、はさみ、